



Kuki  
SDGs

## 私たちのSDGs宣言書



久喜市

久喜市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

パートナー登録認定番号：0005

<概要>						
氏名又はニックネーム	自分予防医学研究所					
活動内容	<p>自分予防医学研究の活動は、生活習慣病などの予防事業に積極的な自治体への財政支援を強化し、寄与しております。</p> <p>その中で特に農薬使用による慣行栽培の農業生産者の病気や、市民の右肩上がりの医療費削減を目指しております。</p> <p>人はなぜ思いもよらぬ病気になるのか？ここが原点です。</p> <p>国や医療機関・マスコミなどが口に出出来ない病気の実態は、病気になる原因をしっかりと周知させ、予防の努力対策をお伝えしております。</p>					
<SDGs達成に向けた宣言>						
現在取り組んでいるゴール又は今後取り組みたいゴール						
			○			
						
			○		○	○
						
					○	
SDGs達成に向けた取組方針	<p>当社の経営理念である「電解水農法は地球を救う」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標（SDGs）と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。</p>					
上記で選択したゴールの達成に寄与するための主な活動内容	ゴール（3, 12）					
	◆環境 農薬を用いない農業に取り組むことによって、農薬・化学肥料の使用量を削減する。<（現状値）2021年の数値>農薬・化学肥料使用量：110kg/年					
	ゴール（17）					
	◆社会 社会貢献活動の一環として、農薬や化学肥料の高騰化には頼らない新しい次世代農業の取組の周知活動を行っている。<（現状値）2021年の数値>講演会実施回数：30回/年（のべ90人参加）					
ゴール（9, 11）						
◆経済 環境負荷の低い農薬不使用栽培「電解水農法」の利用者数の増加を図っている。<（現状値）2021年の数値>「電解水農法」利用者：のべ1名（1台導入）						



本市のゼロカーボ  
ンシティの実現に  
向け、当事者とし  
て主体的に取り組  
む内容

- ・農薬を使用しない農業 2030年に向けた指標：5kg/年削減。
- ・周知活動 2030年に向けた指標：50回/年のべ150人増加します。  
常時ホームページやZOOMオンラインで周知活動します。
- ・利用者数の増加 2030年に向けた指標：のべ33名/年増加。（補助金の活用を推  
進し33台導入）

